

障害児アンケート調査報告書

2017年8月1日

障害者計画・第5期障害福祉計画・第1期障害児福祉計画 策定のためのアンケート調査実施について

(目的)

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第88条により障害福祉サービスの推進を図るため、各年度における障害福祉サービス・相談支援の種類ごとの必要な量の見込みその方策等の策定をする第5期障害福祉計画及び第1期障害児福祉計画を策定するにあたり、障害者から障害福祉サービスのニーズや見込み量を推察するためにアンケート調査を実施するとともに、サービス提供事業所に対しサービス提供時の現状や事業計画等についてもアンケート調査を実施するものである。

(実施主体) 健康福祉部福祉課 障害福祉係

(調査対象者等)

- ① 身体障害…身体障害者手帳取得者のうち、75歳以下の方で、64歳までは全取得者、65歳以上の手帳取得者のうち、要介護認定者を除くもの。
- ② 知的障害…療育手帳取得者のうち64歳までは全取得者、65歳以上の手帳取得者のうち、要介護認定者を除くもの。
- ③ 精神障害…手帳所持者・自立支援医療(精神通院医療)受給対象者 64歳までは全取得者、65歳以上の手帳取得者のうち、要介護認定者を除くもの。
- ④ 障害児の保護者
- ⑤ 手帳を持たないサービス利用者

(回答数の内訳)

調査対象	調査数 (郵送)		回答数	回答率
児童の保護者	337人		182人	54.0%
身体	1,817人		1,111人	61.1%
精神	518人	946人	458人	48.4%
精神通院医療	428人			
知的	701人		409人	58.3%
	3,801人		2,160人	56.8%

(実施内容) 別添調査票のとおり

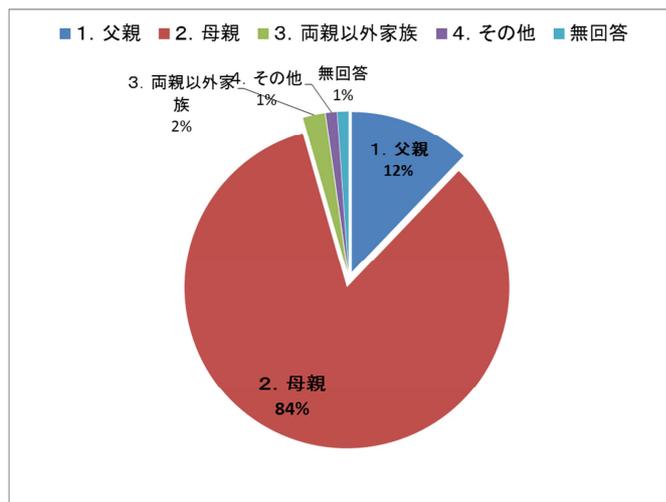
(実施期間) 平成29年6月15日から平成29年7月7日

(実施方法) 郵送により対象者等あてアンケート調査票を送付し、郵送により回答を得る。

(その他) 実施後、特定されない形で結果を集計し見込み数量を検討するための基礎資料とするとともに、施策推進協議会、自立支援協議会等へ情報提供するものとする。

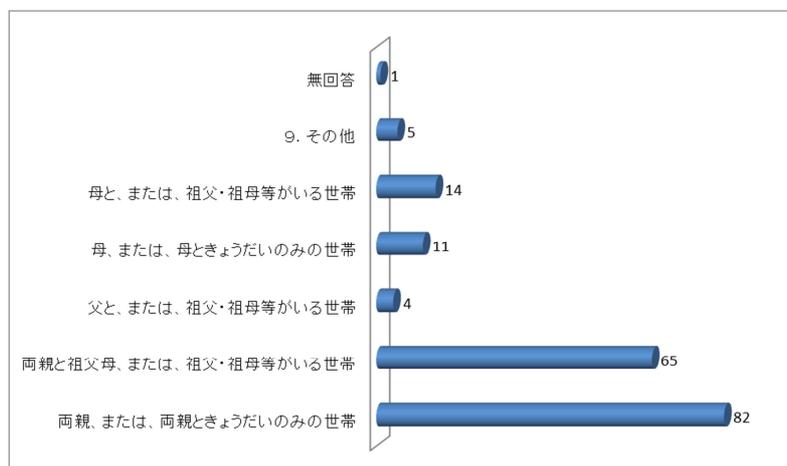
このアンケート報告書で「身体」とは身体障害者、「知的」とは、知的障害者、「精神」とは、精神障害者を示す。

問1 この調査に回答していただく方は、どなたですか。(1つに〇)



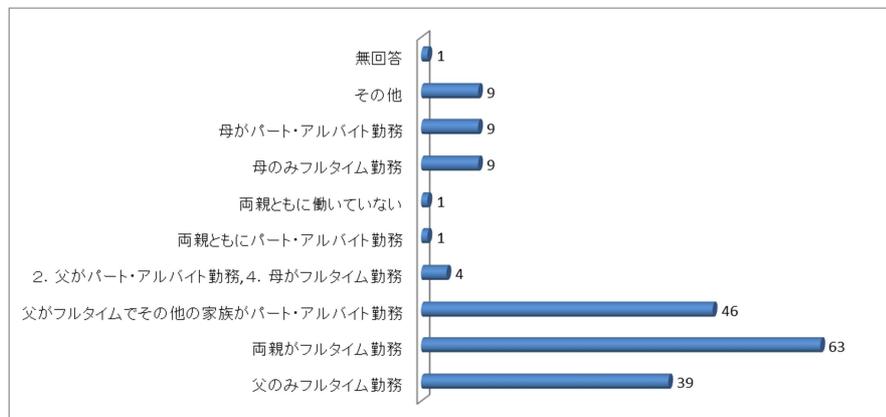
母の回答が84%となっている。

問2 お子さんはどなたと一緒に暮らしていますか。(あてはまるものすべてに〇)



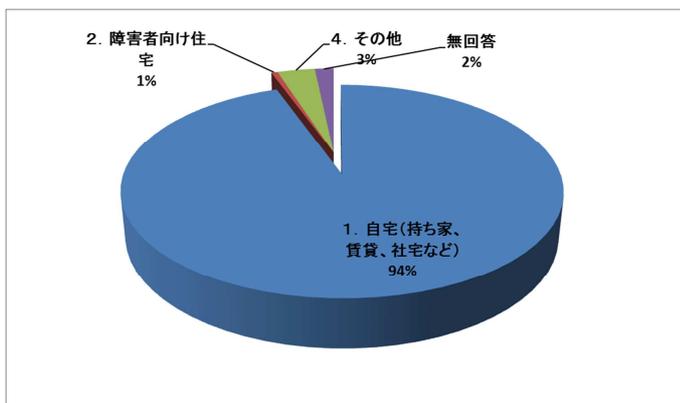
約80%が両親と同居した世帯であり、約45%の世帯は核家族（両親のみ）の世帯となっている。

問3 お子さんの保護者の方の就労状況を教えてください。



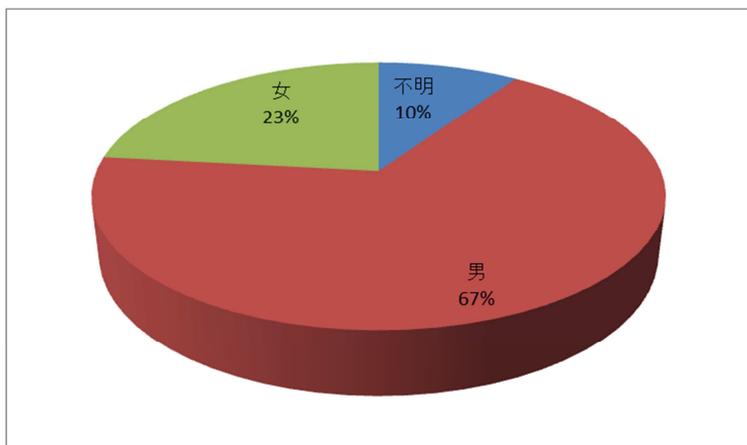
約81%の世帯が父がフルタイムで就労しており、そのうち約31%の世帯で母がパートまたはアルバイトを行う世帯となっている。

問4 現在、お子さんが暮らしているところは、次のどれですか。(1つに〇)

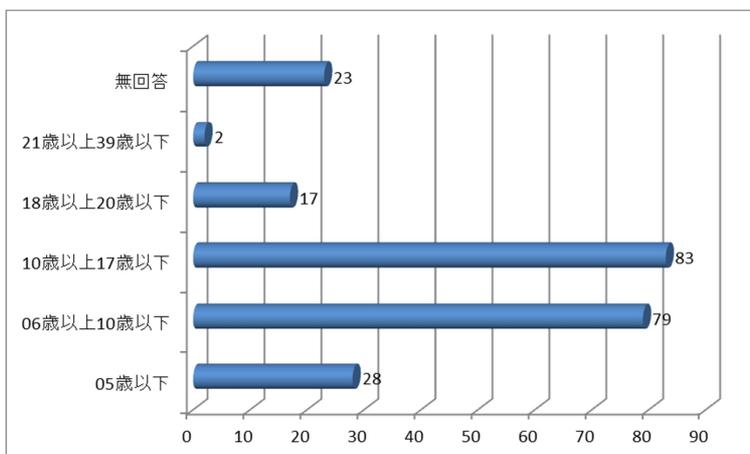


94%の回答者が自宅（持家、賃貸、社宅など）に住んでいる。

問5 発育や発達に不安がある、または障害のあるお子さんの性別と平成29年6月1日現在の年齢をお答えください。

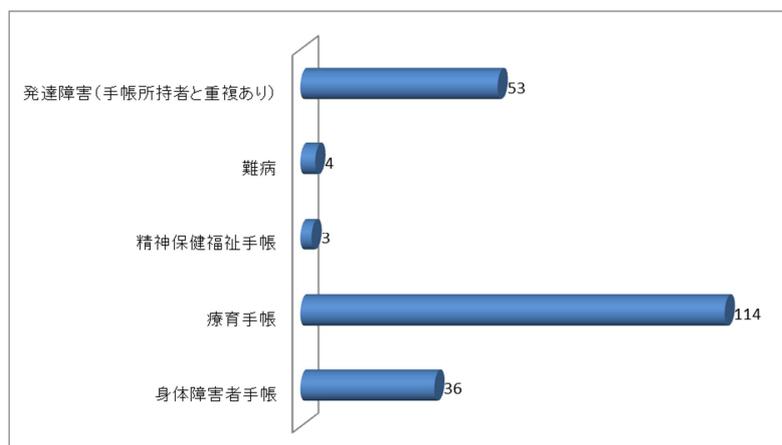


全体の67%が男性となっており、男性比率が高い。

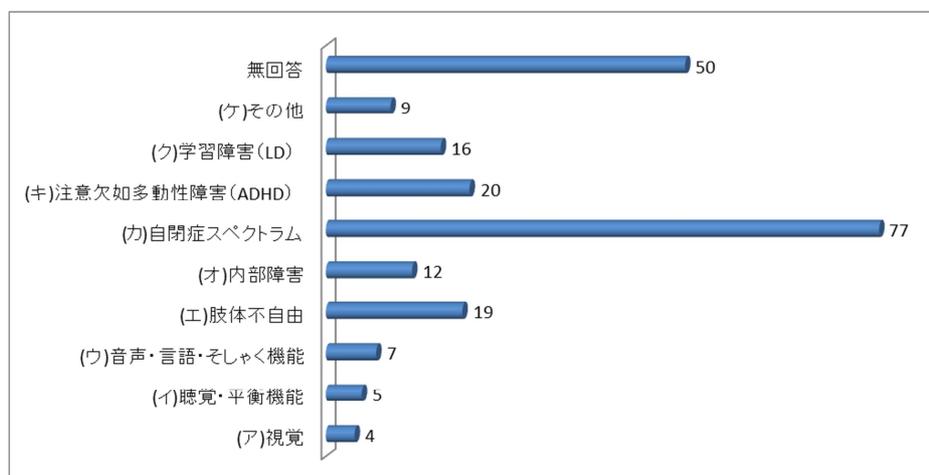


10歳から17歳以下の方からの回答が一番多い。

問6 お子さんをお持ちの手帳や障害等について、あてはまるものすべてに○をしてください。

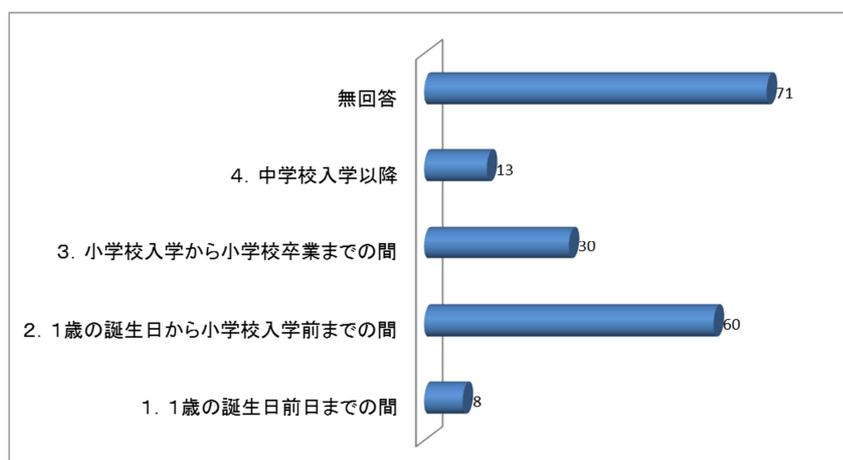


療育手帳所持者からの回答が一番多く114人となっており、手帳所持者とサービス利用者を含めた中で発達障害があると回答された方が53人となっている。



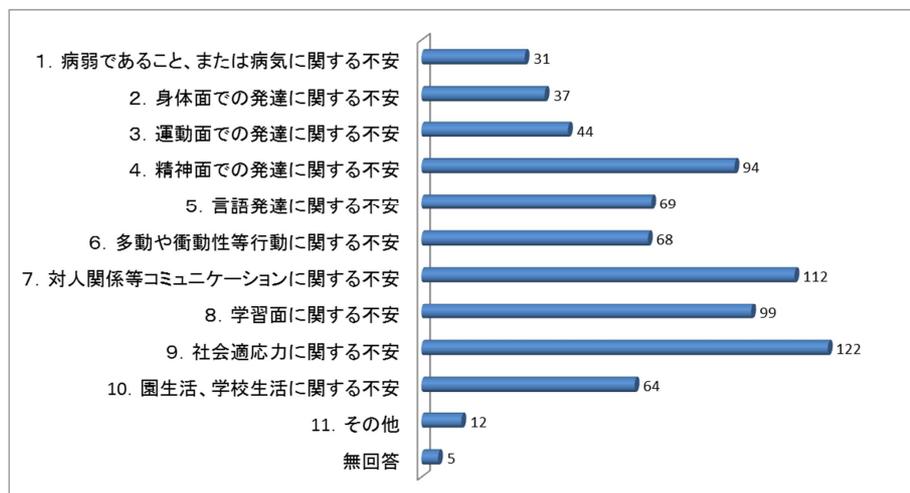
手帳所持者ではない方を含めていること、複数回答も可能としていることから、発達障害があり、自閉症スペクトラムであると回答されている方が77人となっている。発達障害は、知的や身体障害者手帳所持者と重複している方が含まれている。複数回答ではあるが、113件の方が何らかの発達障害を抱えている。

**問7 障害者手帳をお持ちのお子さんについてうかがいます
障害者手帳をはじめて交付されたのはいつですか。(1つに○)**



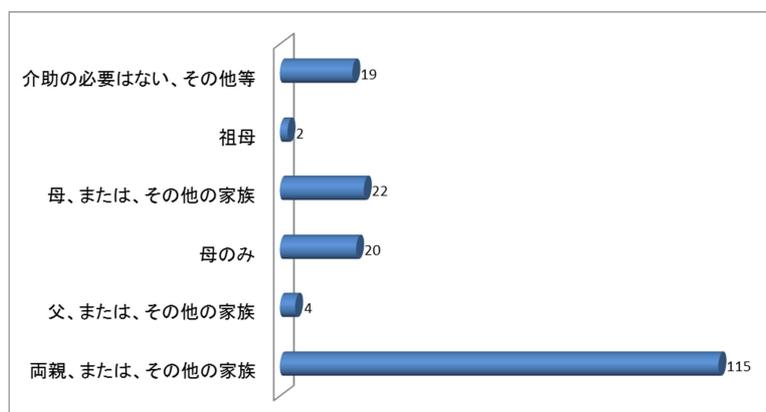
無回答を除き、1歳の誕生日から小学校入学前までの間の方が最も多く、次いで小学校卒業までの間となっている。

問8 お子さんの障害について心配していることや不安のあることについて、当てはまるものすべてに○をつけてください。

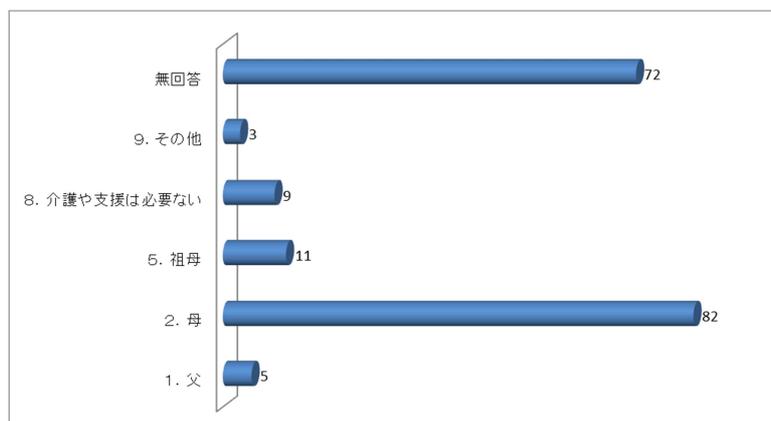


社会適応力、対人関係等のコミュニケーション、学習面、精神面での発達に関する不安が多い。

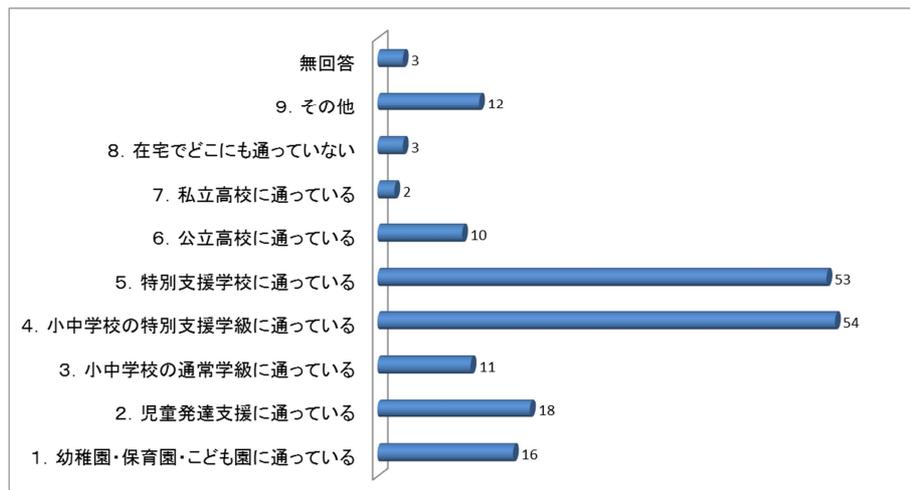
**問9 お子さんの自宅等での介護や支援・援助をしている人はどなたですか。
(あてはまるものすべてに○、そのうち主に介護や支援をしている人1つに◎)**



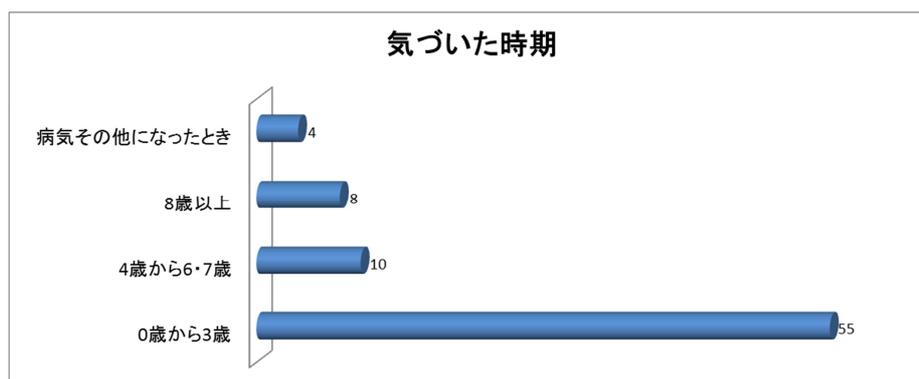
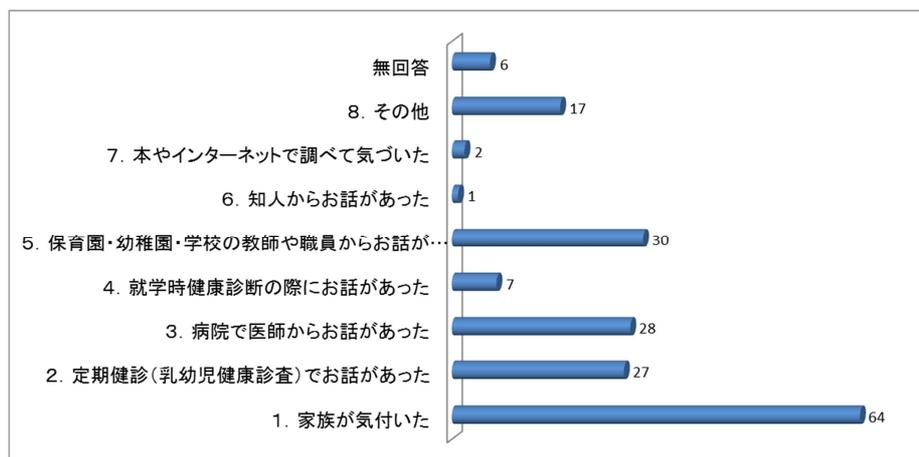
両親または、その他の家族（同居）の方の支援が最も多く、63%となっている。また、主な介護者は、母が最も多く、無回答を除けば74%となっている。



問10 お子さんは、平日の日中、主にどのように過ごしていますか。(主なものを1つに〇)

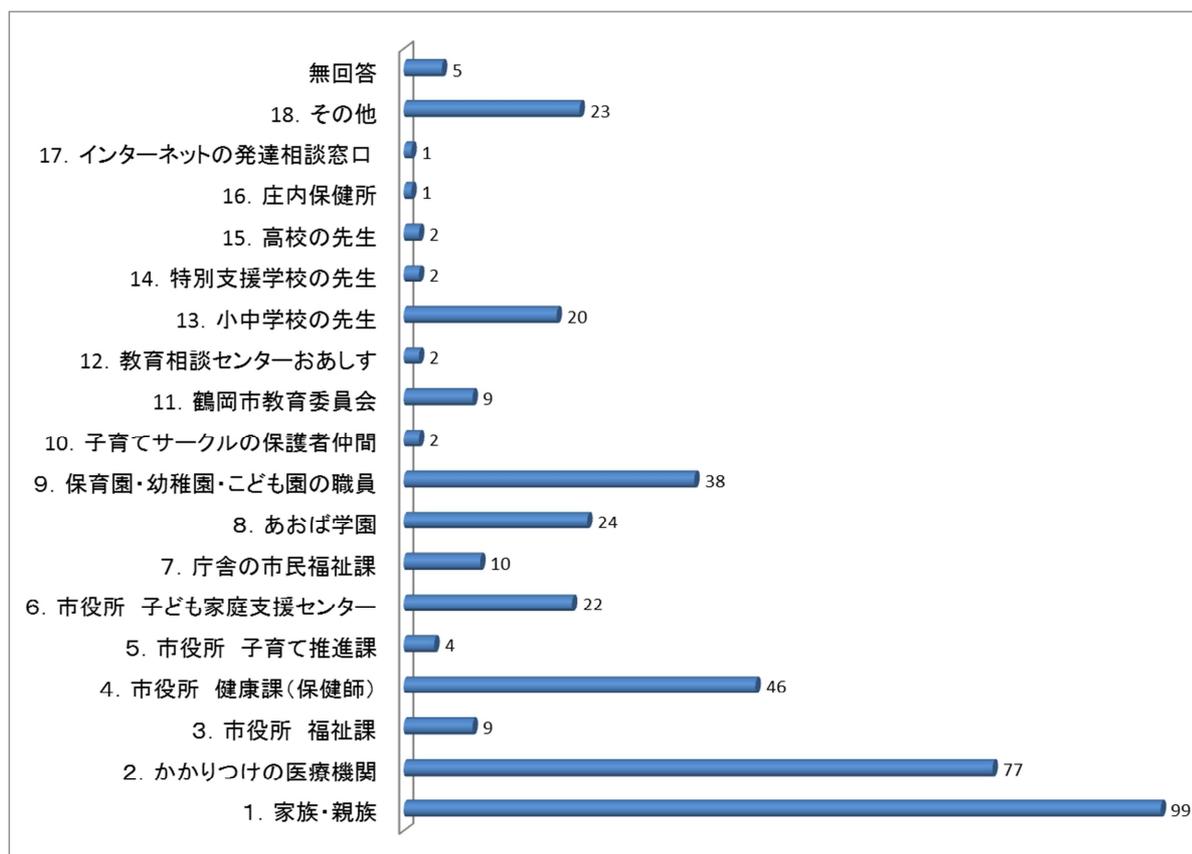


問11 お子さんの発達の不安や障害に気付いたきっかけは何ですか。また、それはいつごろですか。(1つに〇)



家族以外では、定期健診、病院からのお話、園、学校の先生からのお話が気づきのきっかけになっており、気づく時期は、0歳から3歳の時期が最も多い。

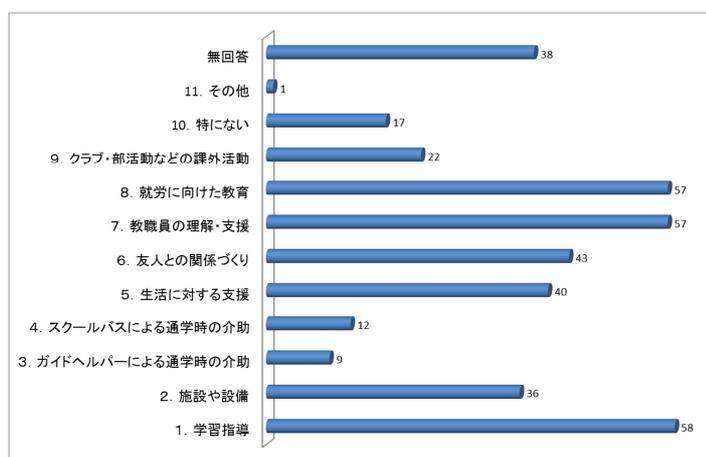
**問12 お子さんの発達の遅れや障害に気付いたとき、誰に（どこに）相談しましたか。
（あてはまるものすべてに○）**



相談相手として、家族、親族を除いた場合、一番多いのが「かかりつけの医療機関」、次に「健康課（保健師）」、次に「保育園、幼稚園、こども園の職員」、「小中学校の先生」の順となっており、相談窓口となっている、子ども家庭支援センター、あおば学園は比較的少ない。

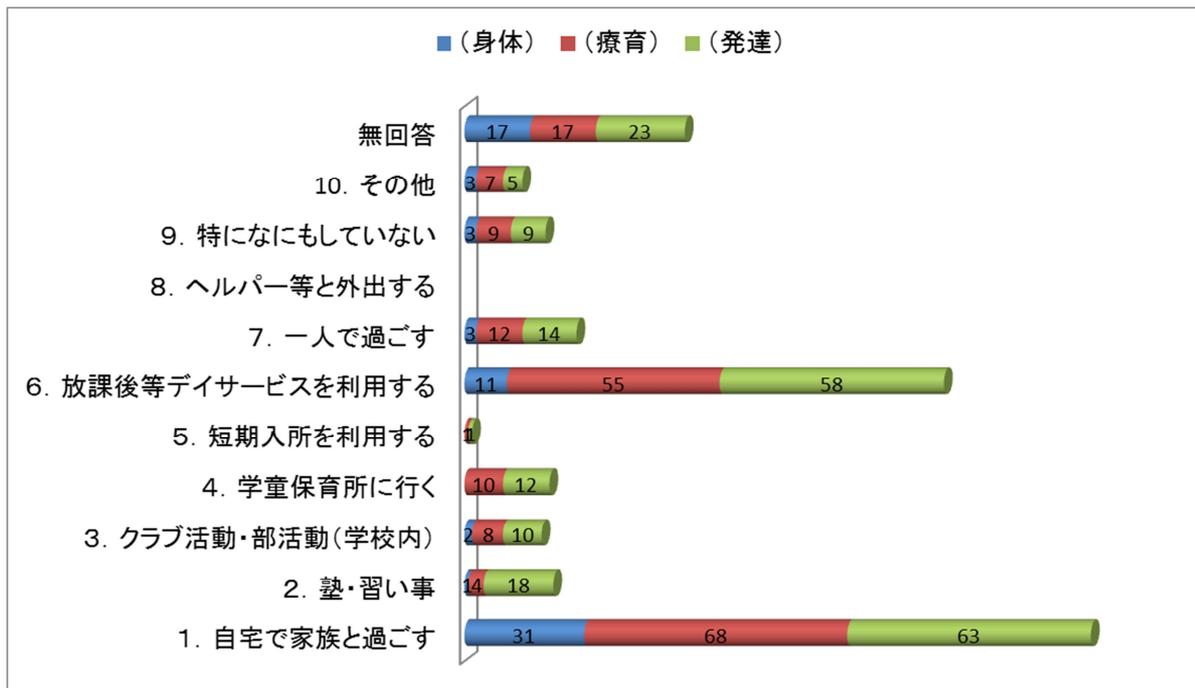
お子さんの教育・療育についてうかがいます

問13 お子さんが受けている教育や、学校生活について、さらに充実させるべきだと思う点がありますか。（あてはまるものすべてに○）



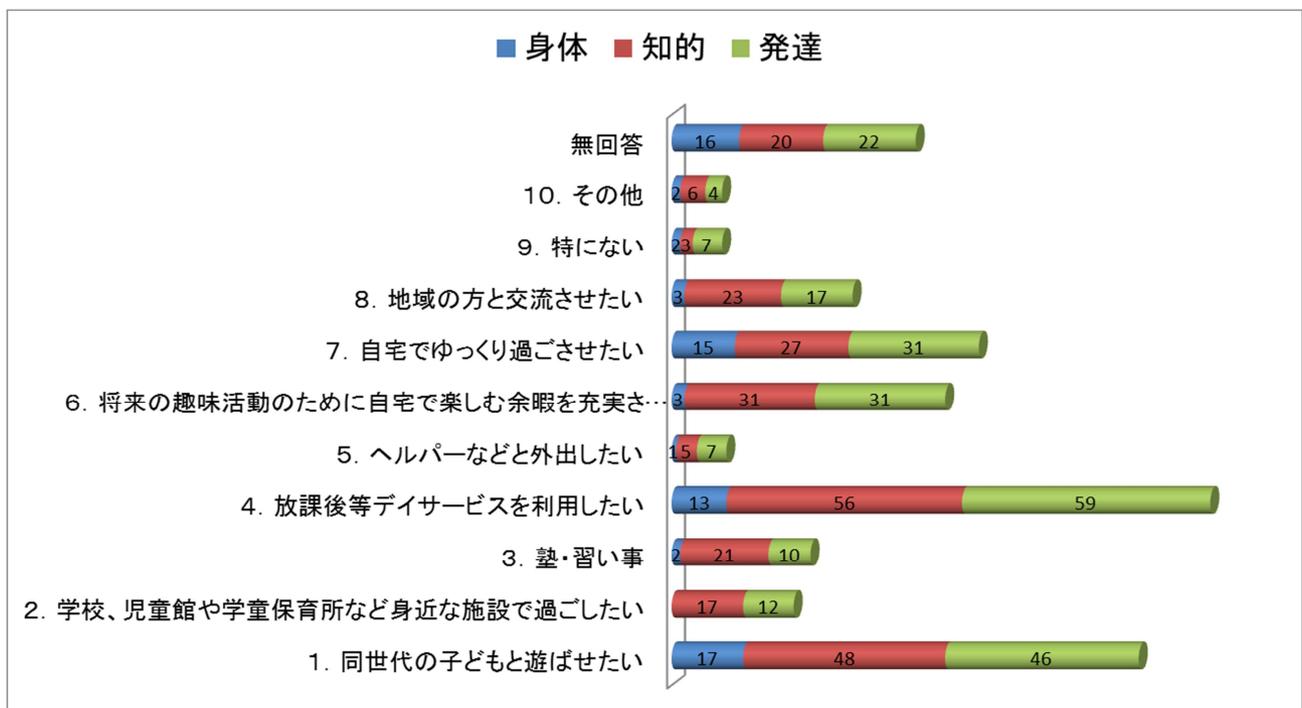
学習指導以外では、「教職員の理解と支援」、「就労に向けた教育」が最も多い。

問14 お子さんは放課後や夏休みなどの長期休業中はどのように過ごしていますか。
(あてはまるものすべてに○)



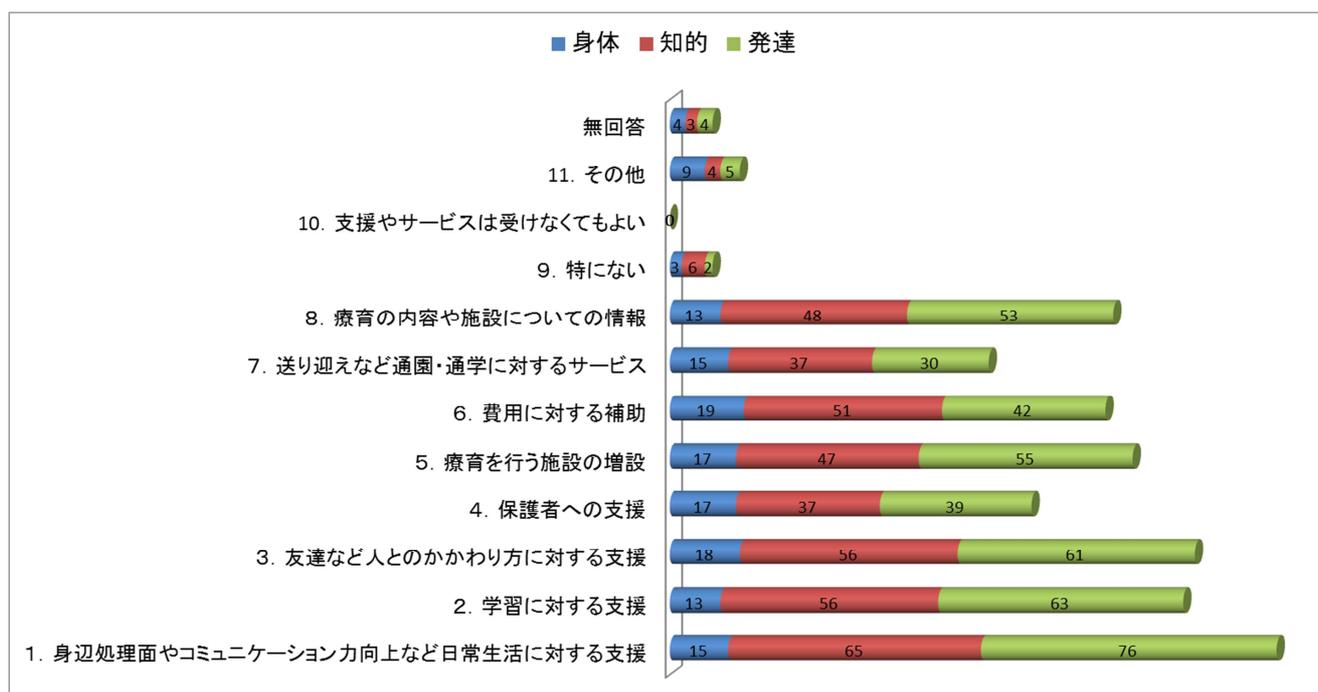
※発達には、身体、療育を含んでいる（どっちにも計上している）ため、数値が高いが、傾向を比較するため計上している。自宅で家族と過ごすのが最も多く、次に放課後等デイサービスを利用している方が多い。

問15 今後、放課後や長期休業中など、学校以外の時間はどのように過ごしたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)



放課後や長期休業中など、学校以外の時間は、放課後等デイサービスを利用したいと答えた方が最も多く、次いで同世代の子どもと遊ばせたいが最も多い。

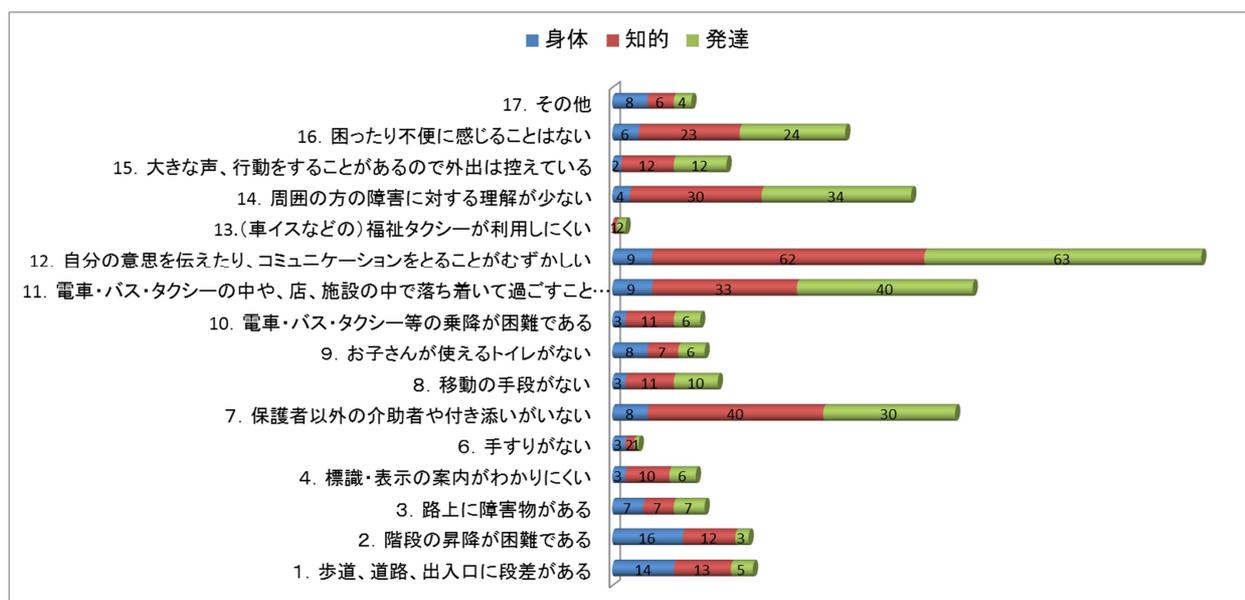
問16 お子さんが受けている療育や支援について、さらに充実させるべきだと思う点がありますか。(あてはまるものすべてに○)



比較できるほどの傾向はなく、回答欄にある支援は必要であると考えている。その他の内容で主なものとしては、以下のとおりとなっている。

- もっと専門の先生とお話する機会が多くもてれば助かります。(発達障害)
- 養護学校が1つしかないので、特別支援学校の増設
- 医療機関、専門医師の充実とその情報
- 集団生活が苦手(苦痛)な場合の学校に変わる施設
- 医療を専門とするドクターが療育センターの常駐していない為、子供のことを継続してみてくれる専門医がほしい。
- 療育レベルの向上
- 学校の近くに毎日通えるリハビリ施設が欲しい
- 習い事(障害のある児童でも通える)

問17 お子さんと一緒に、またはお子さんが一人で外出するときに困ったり不便に感じたりすることは何ですか。(主なもの3つまでに○)

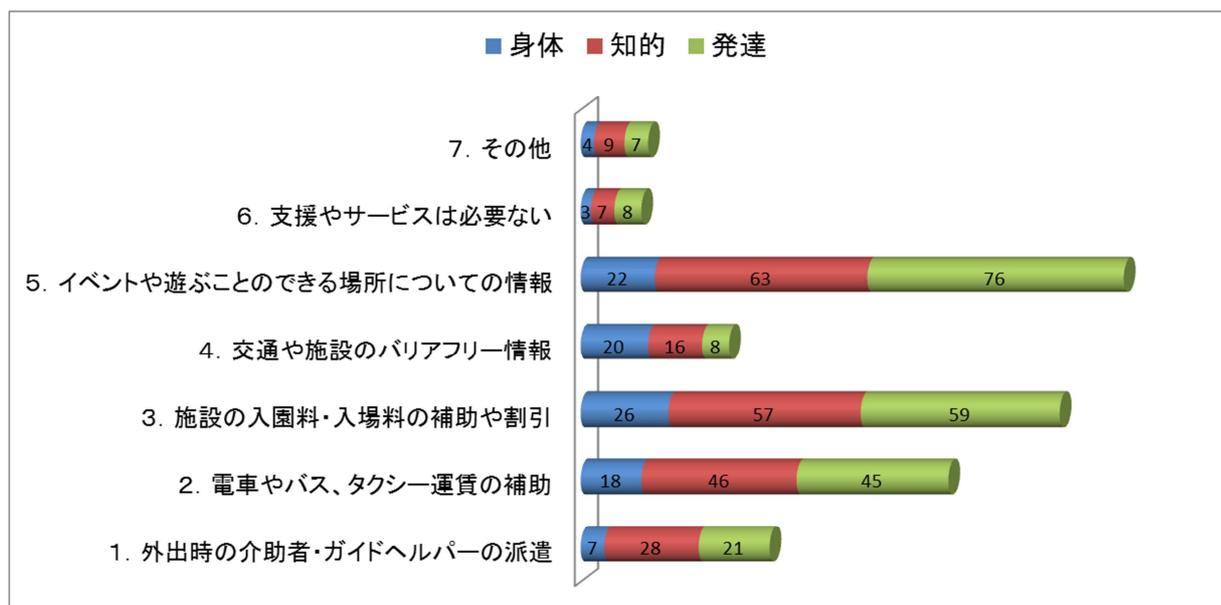


外出で困ることは、コミュニケーションをとることが難しく、公共交通機関や公な場で落ち着いて過ごすことが苦手としている方が最も多い、次いで、保護者以外の介助者や付き添い（行動援護等の支援）がないこととなっている。

その他の内容としては、以下のとおり

- 乗車中の電車、バス等の急な停車の理由の情報保障
- 危険予測がまだできない。
- 駐車場等での飛び出し
- 横になって体調を回復させるところがない
- 障害者駐車場に屋根が無い所が多く、雨や雪の日は外出が大変
- 施設内の通路が狭い。物が置いてあり、バギー等が通りにくい
- 大きくなって女子トイレには連れて行けない。障害者用のトイレがない場所は本当に困る。
- ハンドドライヤーのあるトイレには入りたがらない
- オムツをかえる場所がない。
- 一人で外出の練習したいが、実際には付き添いが必要。安全な行動等は難しい。
- エレベーターがなかったり狭かったりした。

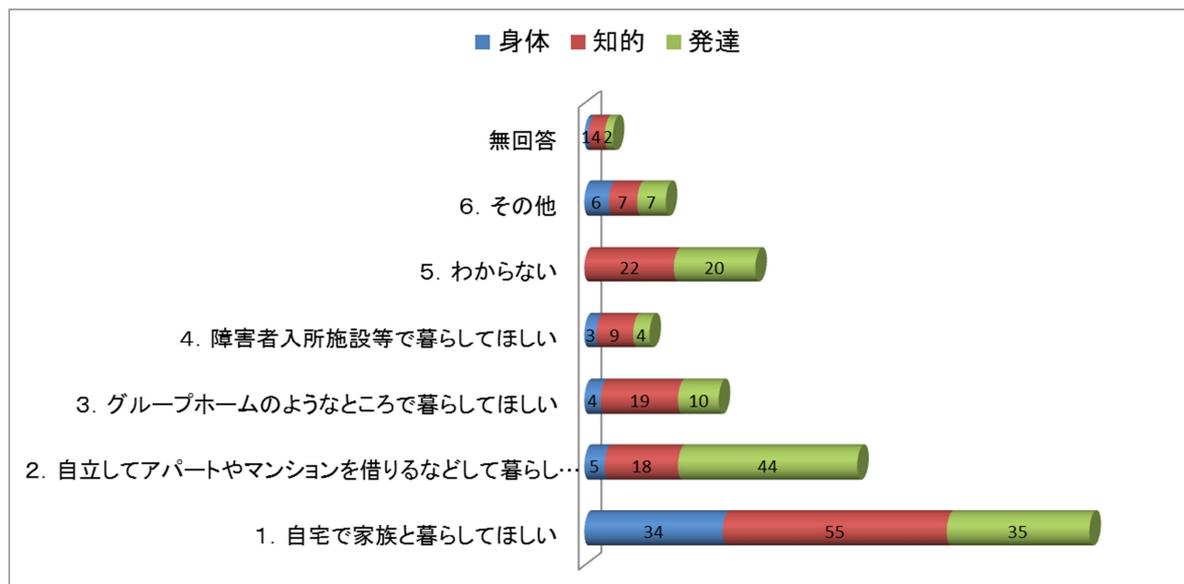
問 18 お子さんとの外出時にどのような支援やサービスがあるとよいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)



その他内容

- 待ち時間の軽減。
- 店内の職員の障害の理解力
- 長時間待ったり集団の中でルールを守るのが苦手でも楽しめるプレイスペースがあると助かる。
- プールに母子で行けるよう障害者用の更衣室があると良い。男子更衣室で、一人で着替えができない。女子更衣室に連れて行ける年齢ではなくなってきた。
- トイレの情報、ハンドドライヤーのないトイレの地図など
- 介助者分の割引、移動にかかるガソリン代の補助、公共機関利用時の最短の動線情報
- おもちゃの図書館のような所の増加
- 行動援護 (プールや温泉などの男性のヘルパーとの行動援護があると余暇の範囲が広がる)

問 19 お子さんには将来どのように暮らしてほしいですか。(1つに〇)

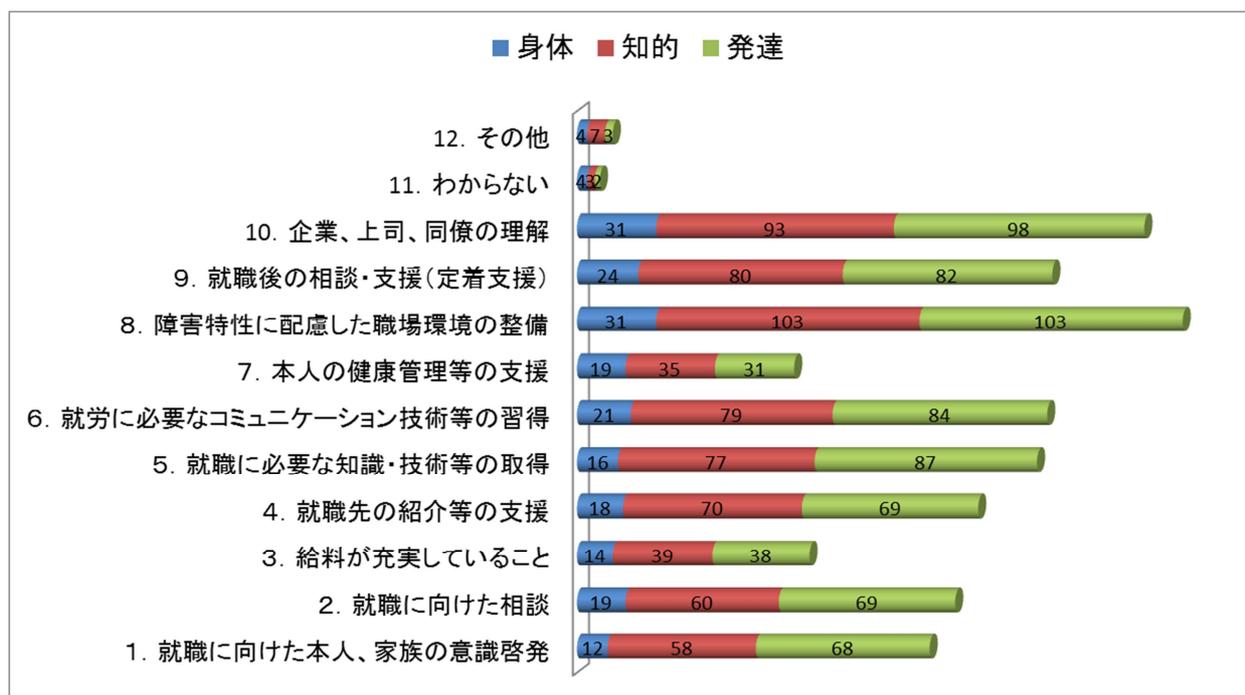


自宅で家族と暮らしてほしいと思っている方が最も多い。

その他内容

- 誰とどこで過ごすかは自分の意思で決められるようになってほしい。そして、それを尊重してあげたい。
- 健康に普通に生活できるようになってほしい
- 今のまま病院に入院していた方が安心です。
- 本人に任せる
- 本人の望むようにしてあげたい
- 自立して生活出来れば本人の為にはなると思うが、必要な援助をすべて受けられるとは限らないので不安に思う。
- 自宅でも自立でもいいが、一人で生活できればいい
- 富山式のような家庭に近い環境
- 自立し生計・結婚し子供ができ家族を作ってほしい
- 結婚して子供を授かり、家族を作って仕事で収入も得て、生活できるようになってほしい。

問20 お子さんが将来仕事に就くために重要だと思われることは何ですか。
 (あてはまるものすべてに○)

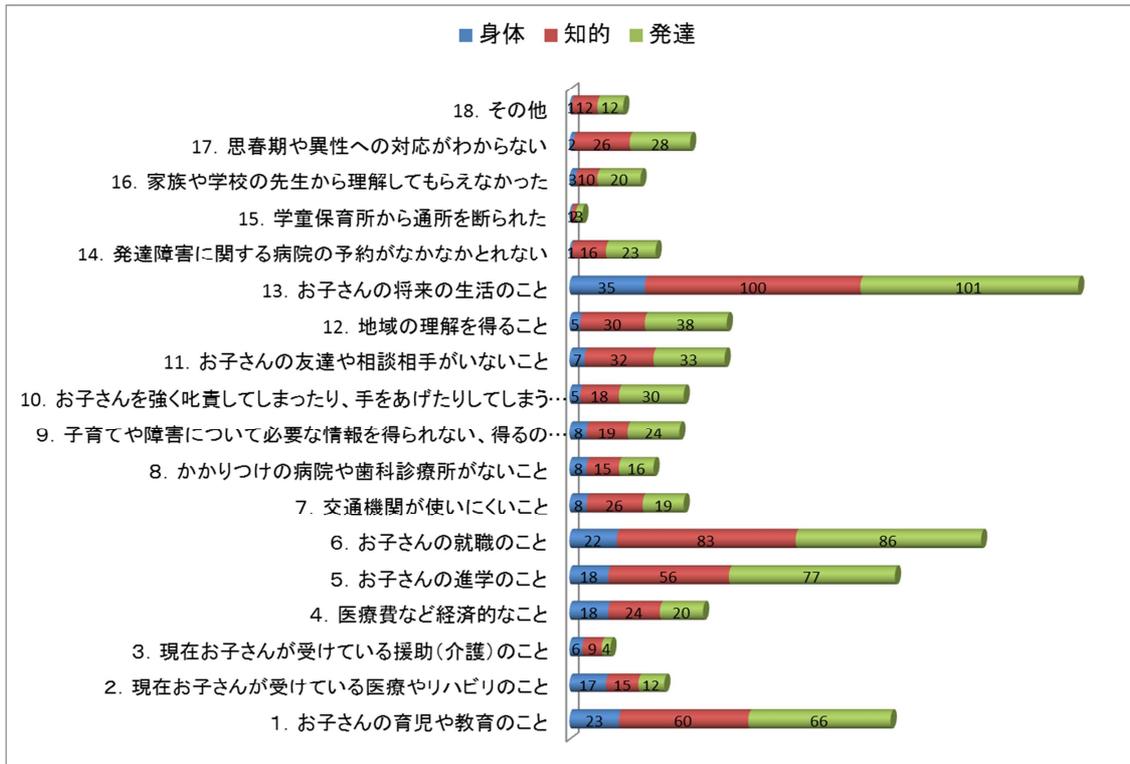


その他内容

- 仕事に就くことが出来ないほど重度であり、就職は無理と思われま
- 本人の特性に合った職業を見つけること。何か1つくらい長じた都合があると思うので、それを見つけて伸ばすこと。
- 特別支援学校の期間で不十分、または延長希望の方への支援、本人の訓練等
- 医学の発展
- 支援者の障害に対する知識、理解

相談についてうかがいます

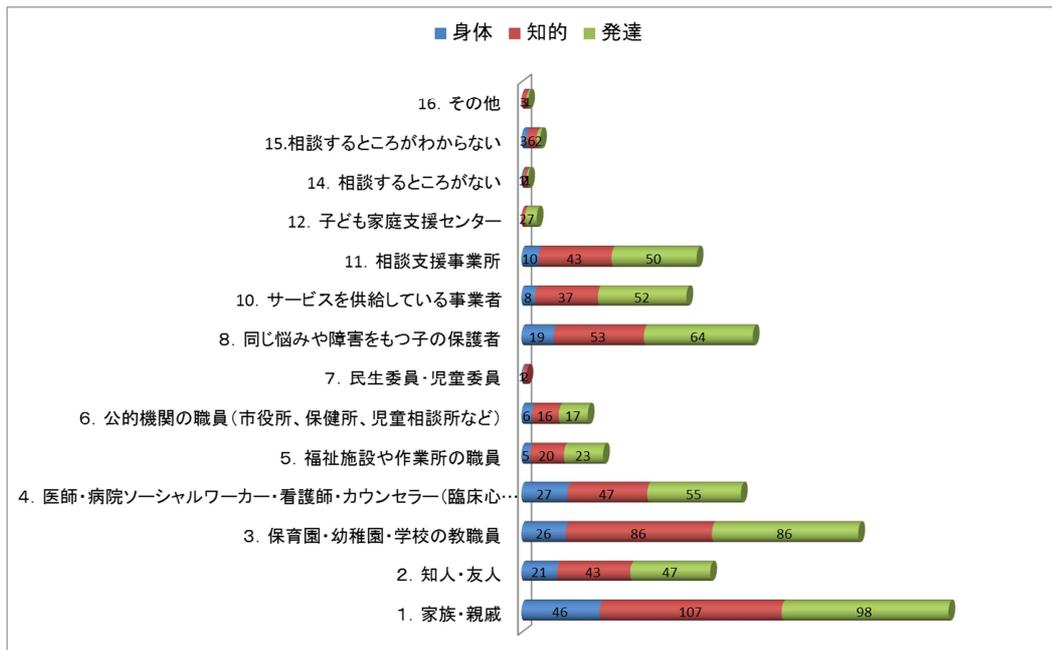
問 21 お子さんのことで悩みごとや困ったことがありますか。



お子さんの将来の生活のことが最も多く、次いで就職のこと、進学のこととなっている。その他の内容として困っていることは、以下のとおり。

- 発達専門の医師または病院を増やしてほしい。
- パソコン、スマホの依存
- 医療機関の受診も考えていますが、不登校などの表立った問題のない現在、どこの医療機関に行けばいいのかわからない。
- 現在の医療費が高く、毎月行けない事もある
- 卒業時、通所可能は事業所があるか。本人の希望に合っているか。
- 上の子も下の子も発達障害ですが、タイプが違うので対応の仕方に悩む。いつも手さぐり。
- 療育
- 祖父母の介護と、育児が同時進行
- 障害がある子とそのきょうだいの関係
- 卒業後の居住地

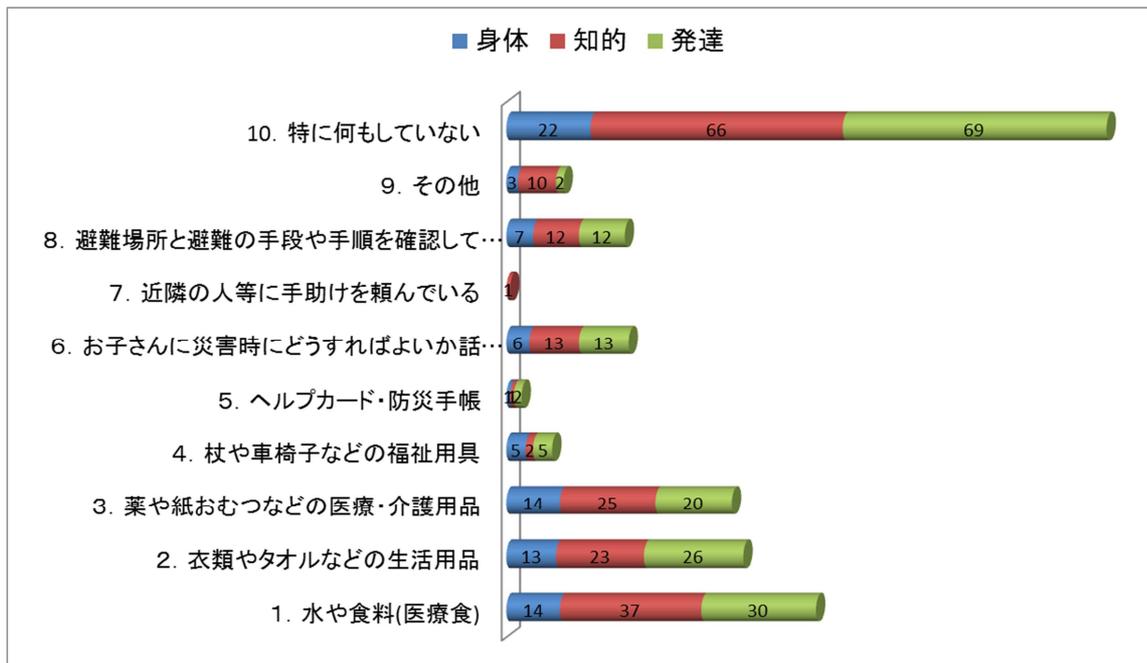
問22 お子さんのことで悩んでいることや困っていることについて、相談するのは誰ですか。(あてはまるものすべてに○)



相談相手として、家族、親せき以外にもっとも多いのが、「保育園、幼稚園、学校の教職員」、次いで医師、看護師など医療機関、同じ悩みや障害がある子の保護者となっている。

防災についてうかがいます

問23 災害が起こった時に備え、準備しているものはありますか。(あてはまるものすべてに○)



問24 災害が起こった時にそなえて、配慮してほしいことがありますか。

(自由に記述ください)

避難場所での配慮(個室、クールダウンできるスペース、理解のある人の集まり)

・・・26件

- 静かにしなければならない等の理由を理解できないので、一般の人たちと同じ所には避難して泊まる事が無理です。周囲の人には申し訳ないと思うのですが、こういった障害に悩む方々専用の一時避難する場所を確保してもらいたい。
- 大勢の人と避難生活を長く続ける事はとても難しいと思います。我が子が災害弱者と周りの人にきちんと理解してもらえる様に配慮してもらい、家族単位の避難場所を確保してもらえる様に考えてほしい。(いざという時の為のマニュアル等の設置) その方が本人や周りの人もストレスなく過ごせると思います。
- 避難所での個室の確保(体育館は厳しい)、自家発電・電気がないと吸引・吸入できない、障害者なのだと分かるようにしてもらいたい、アレルギーや食べ物の形状やわがままで食べられないわけではない事を知ってもらいたい。
- 障害をある程度理解している(同じような境遇の人達)でまとまって避難できると思う。
- パニックを起こした時の避難空間(カームダウンエリア)があると助かります。
- 通いなれた学校を避難所としてほしい(地区の避難所とすみ分けてほしい)

薬等・日常生活用具(ストーマ等)の準備・・・5件

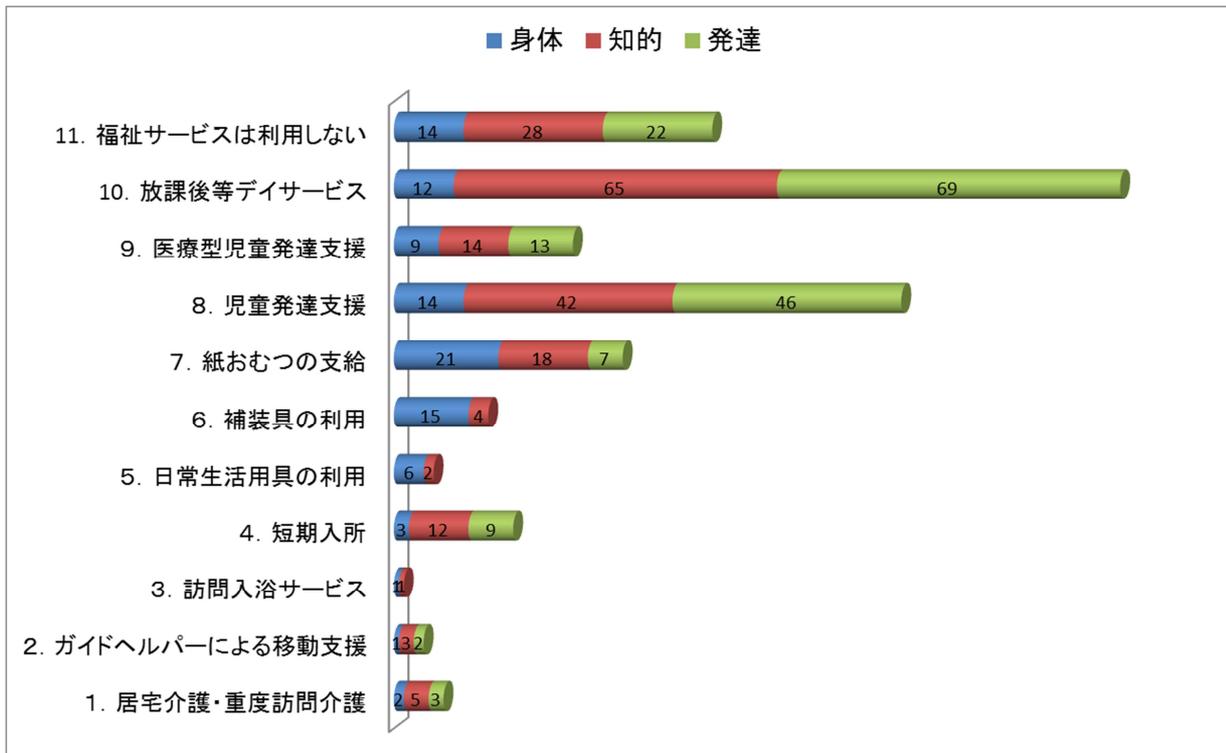
- 薬の件。一度に処方してもらえる日数が決まっている為、避難生活が長引いてしまった場合の薬の確保
- 紙おむつその他支援がほしい。
- ストーマ用品の確保、及び排泄スペースの確保

情報保障その他・・・16件

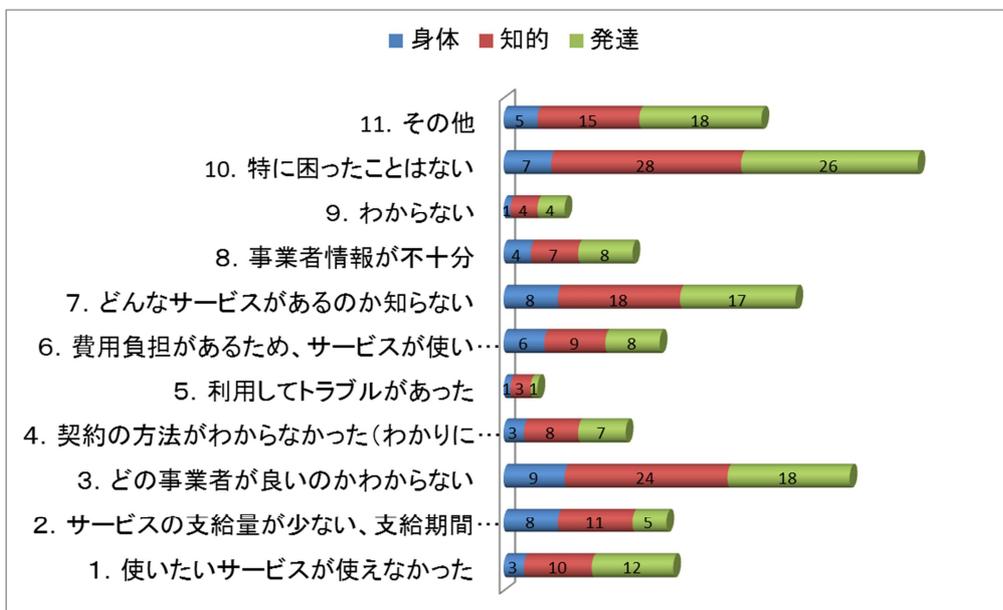
- 親元を離れ一人暮らしをした時、災害が起きても聴覚障害の人は、放送などがあっても聞こえない。そのような時に教えてくれる人が地域にきちんといてくれたらと思う。
- 学区ごとの避難だと養護学校に通っていた場合に孤立しないか不安。地域民生委員などに情報が行くようにしてほしい。
- 発達障害は見た目には分かりにくいので、助けを必要としても分かってもらえない事が多い。災害時に限らず本人や周りから「困っている、助けてほしい」と声を上げたら、まずは受け止めていただけるととてもありがたいです。「それくらいで?」と訴えをスルーされるのが1番辛いです。心が折れます。
- 障害者だけが集まれる場所の設置。周囲を気にせず、避難生活ができる場所の設備
- どこで災害に遭うかは分かりませんが、障害があるので、なかなかコミュニケーションがとりづらいため、「障害を持っていて、なかなか伝える事が厳しい」事を伝える事が出来る手帳、カードがあれば少し安心できると思います。
- 避難所へ来た方には、見通しなど目でわかる様に文字などで伝えてください

福祉サービスについてうかがいます

問25 次の福祉サービスを利用していますか。(利用したことがあるものすべてに○)

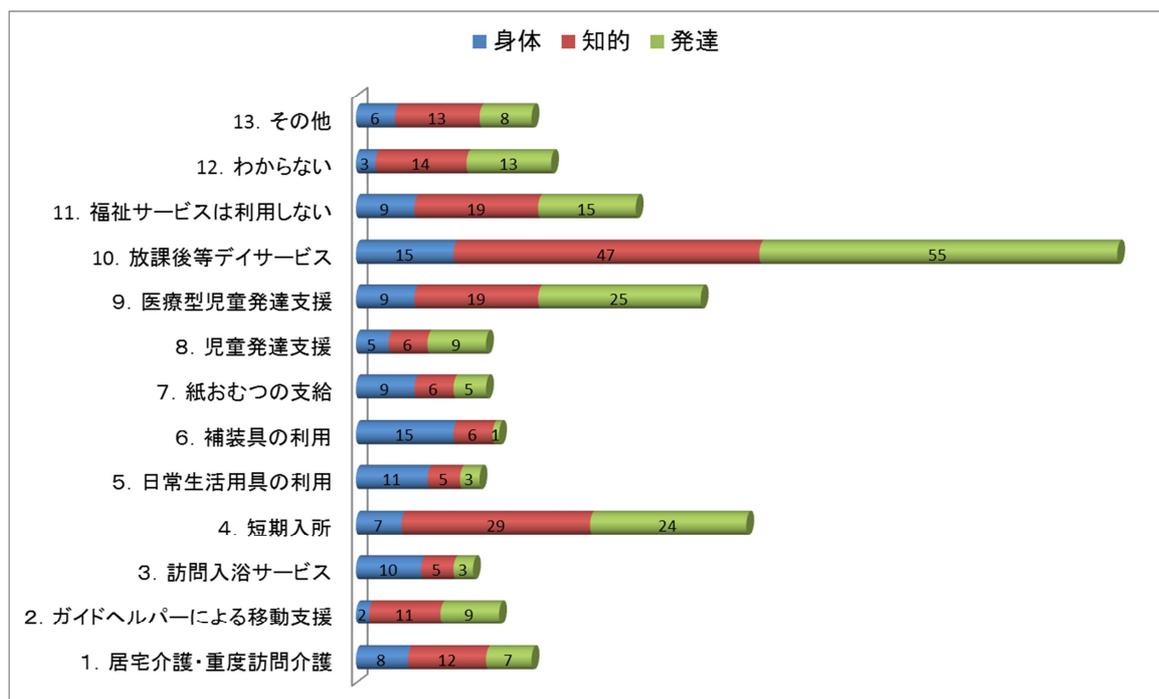


問26 福祉サービスを利用しているお子さんについてお聞きします福祉サービスを利用するときに何か困ったことはありませんか。(主なもの2つまでに○)



「どの事業者が良いのかわからない」、「どんなサービスがあるのかを知らない。」の意見が多い。

問27 今後、以下の福祉サービスの中で、利用したいサービスはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

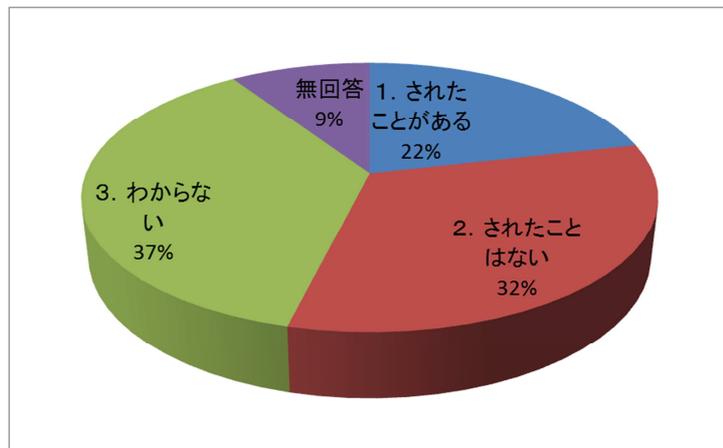


こんなサービスなら使ってみたい

- 言語、学習面をサポートしてくれるサービス
- 就労関係ない通所サービス
- ペアレントトレーニング
- いざという時は受け入れてもらえるサービス
- 給食費免除
- 美容院が療育センターの中にあると行きやすい。過敏があり、髪の毛を切られるのを嫌がり大人しくできない。
- 軽度障害者宅へのホームヘルパーがあれば良い
- 兄弟も一緒に参加出来る集団療育や放課後デイサービス。健常な子供達と一緒に学んだり遊んだりできる生活の場。
- 買い物やお出かけを本人だけとするサポート。地域的に交通機関も少なく、時間も限られる。タクシーは高い。
- 楽しく体を動かすことを目的とした運動サークルみたいなもの。(水泳とかでもいい。障害を理由にお断りされない、本人が参加出来るレベルのゆるさのサークル)
- 行動援護
- 就職後のサポート (面談、相談)
- ビジントレーニング (自閉症スペクトラム等、発達障害について、酒田市の方が色々な面に取り組んでいる)
- 学校での実習の送迎支援

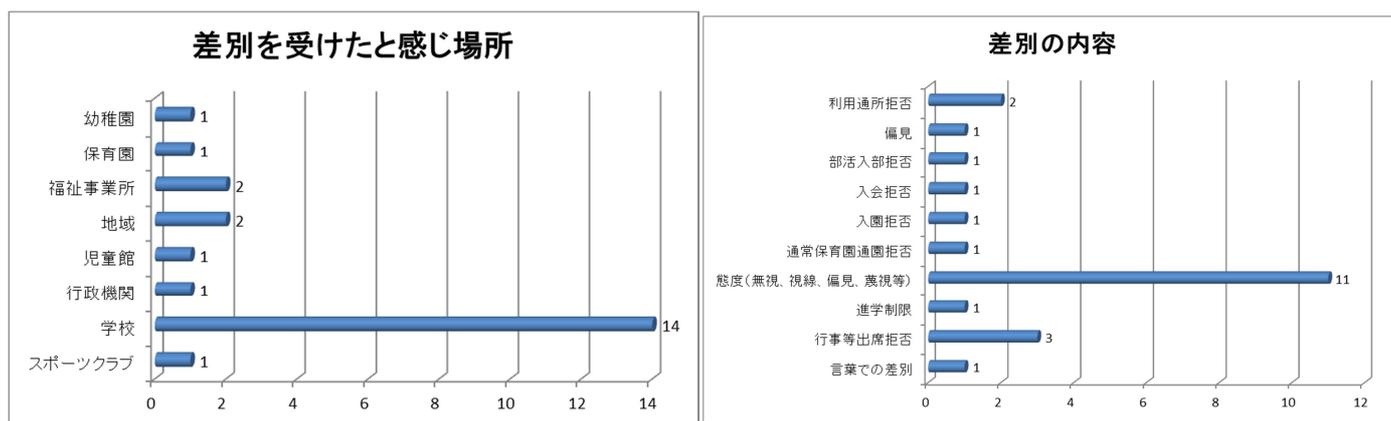
差別についてうかがいます

問28 これまでに差別をされたと感じたことはありますか。(1つに〇)



★問28で「1. されたことがある」に回答した方のみについてうかがいます

問29 それはいつ頃、どこで、誰から、どのようなことをされ、誰かに相談されましたか。(わかる範囲内でご記入ください)



- スイミングスクールの問い合わせの電話で、障害を持っていることを話すと、困っている事例を出され、入会を渋られた。
- 医療行為の必要性から、看護師の配置がないのを理由に利用を断られました
- 挨拶しても話しかけても無視されるようになった。
- 足をびっこ引くようにマネされて笑われた。子供のしたことだからと誰にも言わなかった。
- 「伝えても伝わらない子だね。聞こえないの？言葉が分からないの？大丈夫？」といった発言
- 普通の園に入れるための申し込みをしたが、障害があるために断られた。
- 障害に理解がなく、出たい学校行事に参加できなかった。

自由記載でのご意見

障害児への配慮、理解、障害に対する理解、地域住民の理解等意見など・・・24件

- 見た目では判断しにくい発達障害の場合、対処対応が難しいものだと感じます。色々な特性がある事を、もっと広く知ってもらう事が必要なのかなと思います。法律等、整備されてきてはいるものの、一般の人がいかに理解を深められるのか、という手立てをどのように作っていくかという事も課題であると思います。学校の教員でさえ（特に高校）なかなか理解が深まらない現状（対応の方法も含め）であるので、大変難しい問題だとつくづく感じさせられます。
- いじめの問題も多く聞きます。私の子供もからかわれたりする事もあります。いじめ問題は障害の有無にかかわらずの事ですが、立場の弱い障害者は助けを求める事も簡単ではありません。学校全体で理解していただけるようになってほしいと思います。
- 息子がまだ小さかった頃、（保育園に入っていた頃～小学生位まで）周りの保護者に障害を持っている事、理解してほしいけど、なかなかいう機会がなく、また話してもいいのか話したらどうなるのかが怖くて、悩んで結局カミングアウトできなかった。同じ話を聞いても受け止める方で、様々な受け止め方があると思うので、仕方がない部分もあるが、そういう障害に対する学習会、講演会などをもっと積極的に学校や保育の場でしてほしいと思います。親に対しても、子供に対しても、こんな特徴を持って産れた子供もいるんだな、とどうしたらみんなで一緒に成長し合えるか、どうしたら共生しやすくなるのかを考えてくれる場を増やしてほしいと思っています。

教育、子育てに対するご意見、提言など・・・15件

- 援助者や予算に関わらず、学べる環境づくりをしてください。そして、将来親が死んでからも、障害のある子供も自分らしさや能力を発揮して暮らせるような環境である事を希望します。
- 今現在、保育園に通わせているが、どの職員も本当にうまく適切に対応してくれて、周囲の子供達も自分とは違う事に気づきながらも自然に受け入れてくれ、親子ともにとっても過ごしやすく感じている。そんな中、来年就学を迎えるのだが、息子の障害の度合いから支援学級や支援学校へ通うことになる。6歳の時点で障害者として分けられ、差別のような扱いを受けて今後の人生を歩んでいかなければならなくなる事が非常につらい。学校でも加配の職員をつけて、普通学級に通わせられるということはできないのだろうか。加配とまではいかなくとも、東京都日野市や高知県等ではユニバーサルデザイン授業というものを行っていると聞く。鶴岡市や山形県全体でもこういった教育方法をとる事はできないだろうか。健常者も障害者も差別なく一緒に社会を目指しておられるなら、ぜひ対応していただきたい。

制度や窓口対応、相談支援などに対するご意見、提言、苦言など・・・38件

- 障害者がいる家庭への（兄弟）のフォローや支援が全くない気がします。家族みんなが幸せに生活できるよう、いろいろな家族を見ていただき、支援を増やしてもらいたいです。
- 利用できる福祉サービス等の情報をもう少し分かりやすく伝わるといいなあと思いました。
- このようなアンケートは毎年やっていただいて、今後の福祉事業にぜひ活用してもらいたい。市が中心になり、障害児の親は子供の年齢に関わらず集まれるような場所があれば…と強く願う。
- 「にこふる」のような場所にも、障害児と親と一緒に過ごせるような所があれば良いのになと思う。平日は学校へ行っている為、土日などの開催を希望したい。
- 以前は酒田市に住んでいました。酒田市の発達支援室に相談していましたが、そこには専門知識のある臨床心理士さん？がいて、一つの悩みに対して、4～5通りのアドバイスをしてくれました。それを全部試して、どれかうまくいくこともあり、どれもうまくいかないこともありましたが、たくさんの悩みを全部受け止めてくれ、数えきれないほどのアドバイスをもらって実践することで、とても勉強になり、娘も徐々に良い方向に進んだように思います。保護者向けの研修会にしても、大学の先生、精神科医によるペアレントトレーニングなど、さまざまな機会を与えていただきました。鶴岡市においては、失礼ながら当事者の保護者の悩みを理解し、解決に導くアドバイスをしてくれる専門家がないようにお見受けします。発達支援の充実のためには、専門職の採用を強く望むとともに、多方面から講師を招いて、研修等を行っていただくことを、要望いたします。（自分の子にどのアプローチが合うかやってみないとわからないので。）
- A 課で相談し、B 課、C 課に福祉サービス等を申請に行く時等、すべての窓口で最初から話さなければならないのがとても大変である。個人情報等の問題もあると思うので、簡単に情報をやり取りできないのかもしれないが、もう少し情報を共有されてもいいのかなと思う。いくつかの課をはしごし、各課で色々と説明したにも関わらず、事務的な対応しかしてもらえないと、悲しい気持ちになってしまうので。
- 現在、特別支援学校に通学しているが、スクールバスがなく、保護者の就労時間（特に始業の時間）の選択肢が狭くなる。スクールバスが無い為、保護者の送迎の負担は大きい。他県では、スクールバスでの登校は当然のようになっている。
- 父、母が仕事を持っている為、卒業後就労した際に今までよりも早い来宅や土日など見ていただける放課後等デイサービスのような成人向けのサービスなどがあると良い。というかないと仕事を続けていくことがむずかしくなる。

バリアフリー、地域生活などに対するご意見、提言など・・・8件

将来に対する不安、就労支援などに対するご意見、提言など・・・5件

その他ご意見、提言など・・・6件